

ゾーン担当・学年幹事の役割 2018（案）

【設定の目的】 会員の行事参加率・会費納入率向上のための情報発信・収集と啓蒙活動。本来は八景会「理事」の役割であるが、理事のみによる全 OB/OG 対応は現実的でないため、ゾーン担当に理事の役割を引き継ぐこととする。H28 年卒から学年単位で設定している学年幹事は、将来のゾーン担当候補。

※ 八景会会則には「理事は卒年 4 年ごとに八景会の連絡の要となる。」とあるが、現実に沿わないため、将来の会則変更を念頭に、ゾーン担当役員が理事の役割を担う位置づけとしたい。

※ 役員以外のゾーン担当・学年幹事に対する情報開示レベルを整理する必要あり。

【学年幹事役割概要】 同学年の OB/OG 間で連絡が取り合える状態を維持し、八景会から情報発信・収集などの依頼があった際に、遅滞なく同期に周知する体制を維持することが第一の目的。H28 年卒の OB/OG から制度を開始。

【ゾーン担当役割概要】 学年幹事が設定されていない複数年にわたる年代(ゾーン)を担当。学年幹事の役割に加え、会員情報の吸い上げ、八景会への提案など、さらに能動的な活動を期待する。OB は全年代を網羅。2018 年 7 月時点で、ほとんどの OG ゾーン(～H27 年卒)がカバーされていない。

【実績(八景会からゾーン担当・学年幹事に情報発信・収集などを依頼した内容)】

- (1) 2017 年秋の女子 1 部昇格ニュースの電子配信 (2) 3/3 の親睦試合・総会・懇親会の参加予定人数の確認
 (3) 現役の就職活動支援のための就活アドバイザー登録 (4) 6/30 の親睦試合・懇親会の参加予定人数の確認
 (5) 八景会費納入の呼びかけ

◎情報発信・収集の流れ： 八景会組織連携強化担当役員(戸田・眞野) ↔ 各ゾーン担当・学年幹事

【背景(もとは八景会理事の 2017 年活動方針、「理事」は「ゾーン担当」に読み替え)】

課題： 平成卒 OB/OG の会費納入率、行事参加率が悪い。

原因： 八景会の活動に興味がない。八景会の活動を理解していない。関わるきっかけがない。(←ターゲット層)

施策： ○タイムリーかつ能動的な情報伝達により、八景会・現役の活動内容の認知向上につなげる

○各理事の個人ベースによる情報伝達(信頼関係に基づいたロコミの力を利用、前後 7 年程度の代を網羅、電話・手紙・メール・SNS など世代に合わせたツールを使用)

○新しい理事・ゾーン担当のスカウト、学年幹事の設定

○連絡先不明者の調査(※個人情報提供にセンシティブな世代へのアプローチが課題)

○情報発信ツールの強化(八景会通信、ウェブサイト、SNS など)

目標： 2020 年までに、平成卒 OB/OG で 50 名の継続的な会費納入体制構築を目指す。

【担当者一覧】 *は役員兼務

ゾーン卒年	担当	ゾーン卒年	担当	学年卒年	担当	現役	担当
S31～50 OB	神尾(S50)*	H9～15 OB	米田(H12)*	H28 OB	桐原	現役男子	?
S52～55 OB	小元(S52)*	H16～21 OB	松下(H18)	H28 OG	立花*	現役女子	?
S56～60 OB	北野(S58)*	H22～27 OB	小山内(H25)	H29 OG/OB	田中		
S61～H2 OB	堀田(S63)*	H12～27 OG	不在	H30 OB	村瀬		
H3～8 OB	眞野(H5)*			H30 OG	高木		